



# みずの通信

税理士・社会保険労務士・中小企業診断士

水野会計事務所

500-8288 岐阜市中鶉 3-70-7

TEL058-273-2484 FAX058-273-2416

2016.11

## 年末調整について

今年も年末調整の時期が近づきました。

例年通り、年末調整について従業員さんに配布していただくと便利と思い、「平成 28 年分年末調整について」を作成しました。利用したいと思われる方は必要部数をコピーして、従業員さんに配布してください。

マイナンバーについては、未だ「個人番号カードまたは通知カード」の写し等の提出をしていない従業員さんについては、その提出を受け、扶養控除等の申告書にその番号を記入してもらってください。

すでに、提出を受けている方は必要ありませんが、ただ、扶養控除等の申告書には番号を書いていたいただけだと思います。

平成 28 年度第二次補正予算、ザッと眺めてみましたが、これといった目ぼしい政策はありませんでした。

## 「ためしてガッテン」



私の持病は、疲れがたまると左肩がひどく痛み、そこから頭痛がし、パファリンのお世話になるというものでした。

小学生低学年の時、オーションウェイブという遊技から飛び降りそこなって、ひっくり返り、回転している遊技が左肩にあたって、肩の骨にヒビが入り、大泣きしました。

私は、この事故の後遺症だとずーっと思っていました。

NHKのテレビ番組、「ためしてガッテン」で、肩こりは筋肉をほぐすのではなく、筋膜をほぐさなければいけないとのこと、そして、マエケン体操のようなものを指導していました。試しに実行してみると、私の肩こりは嘘のようになりました。

私から、何十年と苦しめてきた「肩こりから頭痛」というパターンがなくなってしまったのです。朝晩、2回、効果絶大です。

また、別の日の番組で、年を取ると若い時と比べて、毛細血管が60%ぐらいになると言っていました。それを放置しておくと、静脈瘤、エコノミー症候群、心不全等になるとのことでした。

それをカバーするには、その場スキップがよいとのことでしたので、それから朝晩、毎日、跳んでいます。初めて試みたころは、調子に乗りすぎて足首を痛めましたが、今は大分足首も強くなったようです。

その他、私が朝晩する体操は、ゴムチューブで体の筋肉伸ばし、首のストレッチ等々、せいぜい、10分から15分ぐらいでしょうか。

さて、もうひとつだけ、朝、行うストレッチがあります。笑われるかもしれませんが、和式トイレすわりを30秒ほど行います。話を聞くと、結構、和式トイレが苦手という人が多いです。今の私には、和式トイレは快適です。

## 映画

絵本？アニメ？の「ルドルフとイッパイアッテナ」のキャラクターを刷り込んだ名刺が、岐阜市のホームページからダウンロードできます。岐阜市も色々頑張っているようです。

岐阜信長まつりは、ミッキーマウス等のパレードもあり、大いに賑わい、岐阜市もご満悦、メディアコスモス前の広場では「AquaTimez」のコンサートで2,000人集まったとか。

大垣には、映画ロケで、小栗旬等が3日ほど滞在していたそうで、話題も多かったようです。

そして、なんといっても、超大ヒットアニメの「君の名は。」は、岐阜を全国に広めてくれました。「出身は？」と訊かれて、「岐阜」と応えるのが少し躊躇されるという雰囲気はなくなれば、岐阜も大きくブレイクすることでしょう。

さて、アメリカ映画「ハドソン川の奇跡」、男のドラマという感じでよいですね。品格ということでは、「君の名は。」と比較しても、「ハドソン川の奇跡」の勝ちですね。



## 探訪

坂祝のJR駅からJR美濃太田駅まで歩いてみました。「君の名は。」で美濃太田行の電車があったからかな？浅田次郎原作の「一路」に中山道太田宿がでてくるからかな？とにかく歩いてみました。道は、堤防上のロマンチック街道、楽な道ですが、日影がないので、とてつもなく暑かったです。

岩倉街道。名古屋市西区美濃街道枇杷島の追分から名鉄犬山線沿いです。中小田井駅近辺にある古い街並みの保存地区から、岩倉まで一本道です。ひたすら一本道です。この一本道が残っているのがすごいと思いました。商店街というよりは、完全な住宅街、電柱広告すらないという道ですから、ほとんど変化はありません。

八百津に初めて行きました。大仙寺という立派なお寺を観て、人道の丘で杉原千畝記念館を観て、街中で栗きんとんとお酒を買って帰りました。

丸山ダムもなかなかの迫力でよいそうですね。最近は結構、人気が出てきているようです。

個人的な知識では、あとは、せんべい、味噌醤油と酢、油揚げと豆腐、漢方薬。そして、作家池井戸潤、渡辺猛之参議院議員の出身地ということでしょうか。



## テレビ

NHKのテレビ番組、「ミュージックポートレート」、大地真央と市村正親との対談。

市村正親が劇団四季の「ジーザス・クライスト=スーパースター」のオーディションに賭けるくだりの話があります。その曲がバックに流れるなかで、彼がその話をしながら、今でもその曲を聴くと鳥肌が立つ様が放映されました。

私も若い時、激しい何かに飢えていて、「ジーザス・クライスト=スーパースター」の週刊誌の広告を見て、そのキャッチコピーに胸躍らされ、「公演は東京か・・・」とため息をつき、その後、岐阜市民会館で公演があると知ったときは、惹かれるように観に行きました。

劇団四季を初めて知った時でした。

凄かった。本当に凄かった。セットはほとんどなかったですが、歌と踊りが次から次と私の心に叩き込まれてきて、自分の体の持って行き場がないと感じたあの感動は忘れません。

劇団四季、創生期のパワーだったんでしょ。



夢みたものは ひとつの幸福  
ねがったものは ひとつの愛  
山なみのあちらにも しづかな村がある  
明るい日曜日の 青い空がある

(立原道造：夢みたものは)